

WAP125およびWAP581でのクライアントQoS IPv4クラスマップの設定

目的

QoS機能には、ネットワークトラフィックを分類および管理できるDiffServ(DiffServ)サポートが含まれています。DiffServの設定は、クラスマップの設定から始まります。クラスマップは、ポリシーが必要なトラフィックを識別します。ポリシーマップのコンポーネントとして機能します。クラスマップには、トラフィックを転送またはドロップするために一致させる必要がある条件が含まれます。ポリシーマップには、1つのクラスマップを一致させることのできる多数のクラスマップが存在するか、ポリシーマップで指定されたアクションに対してすべてのクラスマップを一致させる必要があります。アクセスポイントのQoS設定を完了するために、クラスマップとポリシーマップを作成します。

この記事では、WAP125またはWAP581アクセスポイントでクライアントQoS IPv4クラスマップを設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- WAP125
- WAP581

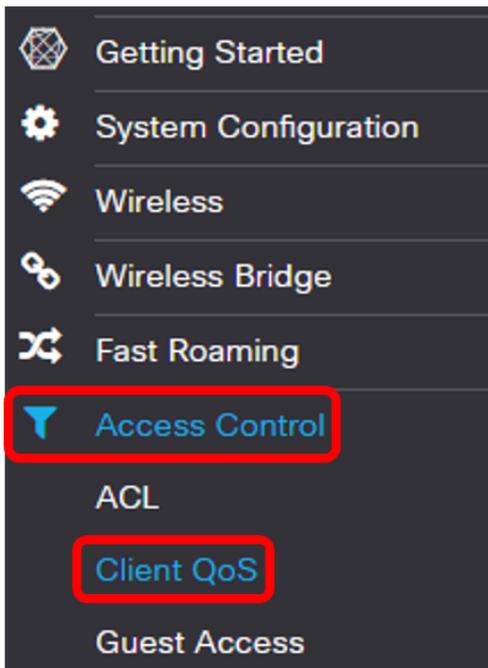
[Software Version]

- 1.0.0.5 — WAP125
- 1.0.0.4 — WAP581

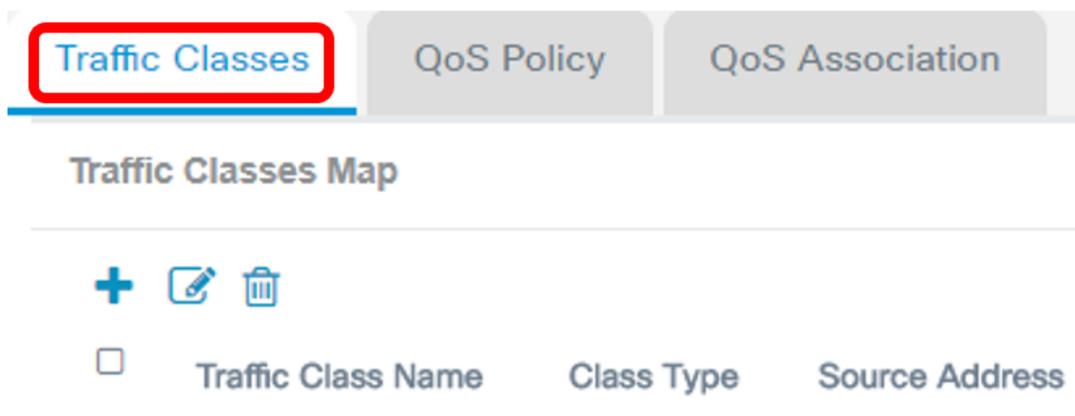
IPv4クラスマップの設定

ステップ1: Webベースのユーティリティにログインし、[Access Control] > [Client QoS]を選択します。

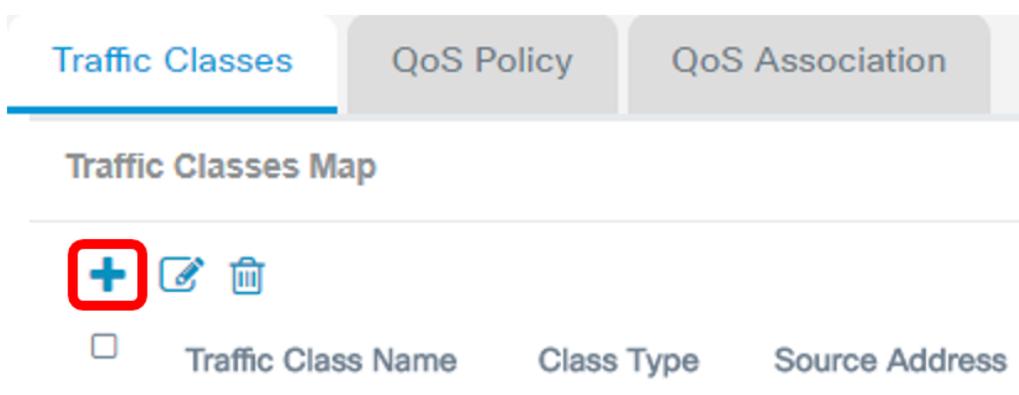
注：この記事の画像はWAP125から取得したものです。オプションはデバイスのモデルによって異なります。



ステップ2:[Traffic Classes]タブをクリックします。



ステップ3 : ボタンをクリックし  て、トラフィッククラスを追加します。



注 : 最大50のクラスマップを追加できます。

ステップ4:[Traffic Class Name]フィールドにクラスマップの名前を入力します。名前には、文字

、数字、特殊文字を31文字まで組み合わせて使用できます。スペースは使用できません。

Traffic Classes Map

+ ✎ 🗑

<input type="checkbox"/>	Traffic Class Name	Class Type	Source Address
<input checked="" type="checkbox"/>	IPv4ClassMap	IPv4 ▼	Any ▼

注：この例では、IPv4ClassMapが入力されています。

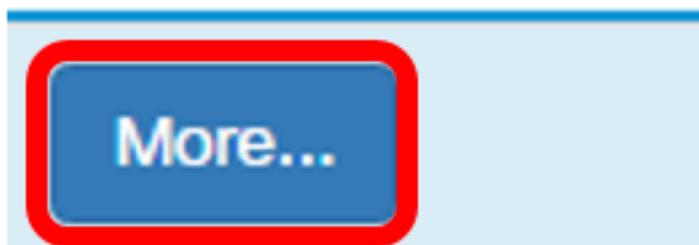
ステップ5:[Class Type]ドロップダウンリストから[IPv4]を選択します。

Class Type	Source Address
IPv4 ▼ IPv4 IPv6 MAC	Any ▼

注：IPv6クラスマップの設定方法を知りたい場合は、[ここをクリックしてください](#)。MACクラスマップの設定については、[ここをクリックします](#)。

ステップ6:[More... をクリックして、クエリーを実行します。

Details Of Services



ステップ7：キーワードで照合するプロトコルを選択するか、プロトコルIDを入力します。次のオプションがあります。

- All Traffic：このオプションは、任意のプロトコルからのすべてのトラフィックを許可します。このオプションを選択すると、すべてのフィールドが使用できなくなります。手順 12 に進んでください。
- [リストから選択(Select From List)]：このオプションでは、IP、ICMP、IGMP、TCP、またはUDPを選択できます。このオプションを選択した場合は、ステップ8に[進みます](#)。
- [カスタム(Custom)]：このオプションでは、プロトコルIDを入力できます。プロトコルIDは、インターネット割り当て番号局(IANA)によって割り当てられる標準です。これを選択した場合は、ステップ9に[進んでください](#)。

Services

Protocol:	All Traffic ▼
Source Port:	All Traffic Select From List Custom
Destination Port:	Any ▼
Service Type:	Any ▼

注：この例では、[Select From List]が選択されています。

[ステップ8](#): (オプション) 照合する必要があるプロトコルを定義します。

- [IP] : このオプションでは、一致する必要があるIPアドレスを入力できます。
- ICMP : このオプションは、インターネット制御メッセージプロトコル(ICMP)パケットをフィルタリングします。
- IGMP : このオプションは、Internet Group Management Protocol(IGMP)パケットをフィルタリングします。
- TCP : このオプションは、Transmission Control Protocol (TCP ; 伝送制御プロトコル) パケットをフィルタリングします。
- UDP : このオプションは、ユーザデータグラムプロトコル(UDP)パケットをフィルタします。

Services

Protocol:	Select From List ▼	IP ▼
Source Port:	Any ▼	IP
Destination Port:	Any ▼	ICMP IGMP TCP UDP
Service Type:	Any ▼	

OK cancel

注 : この例では、IPが選択されています。

[ステップ9:](#)[Protocol]フィールドにカスタムプロトコル番号を入力します。

Services

Protocol:	Custom ▼	3
Source Port:	Any ▼	
Destination Port:	Any ▼	
Service Type:	Any ▼	

OK cancel

注 : この例では、3を入力します。

ステップ10：ドロップダウンリストから送信元ポートを選択します。次のオプションがあります。

- Any：このオプションでは、任意の送信元ポートが一致していると思なされます。このオプションを選択した場合は、ステップ13に進みます。
- [リストから選択(Select From List)]：このオプションを使用すると、ソースポートに関連付けられたキーワードを照合し、対応するポート番号に変換できます。これらのキーワードは、File Transfer Protocol(FTP)、File Transfer Protocol Data(FTPDATA)、http、smtp、snmp、telnet、tftp、およびwwwです。
- [Custom]：このオプションを使用すると、データグラムヘッダーでIANAポート番号に一致する送信元ポート番号を指定できます。0～65535の範囲で指定できます。

Services

Protocol:	Select From List ▼	IP ▼
Source Port:	Any ▼	
Destination Port:	Any	
	Select From List	
	Custom	
Service Type:	Any ▼	

注：この例では、[Any]が選択されています。

ステップ11:[Destination Port]ドロップダウンリストから宛先ポートを選択します。次のオプションがあります。

- Any：このオプションでは、宛先ポートが一致していると思なされます。このオプションを選択した場合は、ステップ13に進みます。
- [リストから選択(Select From List)]：このオプションを使用すると、ソースポートに関連付けられたキーワードを照合し、対応するポート番号に変換できます。これらのキーワードは、ftp、ftpdata、http、smtp、snmp、telnet、tftp、wwwです。
- [Custom]：このオプションを使用すると、データグラムヘッダーでIANAポート番号に一致する宛先ポート番号を指定できます。0～65535の範囲で指定できます。

注：この例では、宛先ポートとしてFTPが選択されています。

Services

Protocol:	Select From List ▼	IP ▼
Source Port:	Any ▼	
Destination Port:	Select From List ▼	ftp ▼
Service Type:	IP DSCP Match to Value ▼	ftp ftpdata http smtp snmp telnet tftp www

ステップ12 : ドロップダウンリストから[Service Type]を選択します。次のオプションがあります。

- [任意(Any)] : このオプションは、あらゆるタイプのサービスを一致として扱います。
- [IP DSCP Select from List] : このオプションでは、フィルタとしてftp、ftpdata、http、snmp、smtp、telnet、tftp、およびwwwのいずれかを選択できます。このオプションを選択した場合は、[ステップ13に進みます](#)。
- [IP DSCP Match to Value] : このオプションでは、カスタムDSCP値を0 ~ 63で入力できます。
- [IP Precedence] : このオプションは、パケットのIP Precedence値をこのフィールドで定義されたIP Precedence値と一致させます。IP Precedenceの範囲は0 ~ 7です。
- IP TOS Bits/IP TOS Mask : このオプションは、照合基準としてIPヘッダー内のパケットのタイプオブサービス(TOS)ビットを使用します。IP TOSビット値は、00 ~ FFの16進値です。IP TOS Maskでは、Mask値を入力して、パケットのIP TOSフィールドとの比較に使用されるIP TOS Bits値のビット位置を識別できます。IP TOSマスク値は、00 ~ FFの2桁の16進数で、反転マスクを表します。IP TOSマスクのゼロ値ビットは、パケットのIP TOSフィールドとの比較に使用されるIP TOSビット値のビット位置を表します。

Services

Protocol:	Select From List ▼	IP ▼
Source Port:	Any ▼	
Destination Port:	Select From List ▼	ftp ▼
Service Type:	IP DSCP Match to Value ▼	63
	Any IP DSCP Select from List IP DSCP Match to Value IP Precedence IP TOS Bits/IP TOS Mask	
	OK	cancel

注：この例では、[IP DSCP Match to Value]が選択されています。

[ステップ13](#):**[OK]**をクリックします。

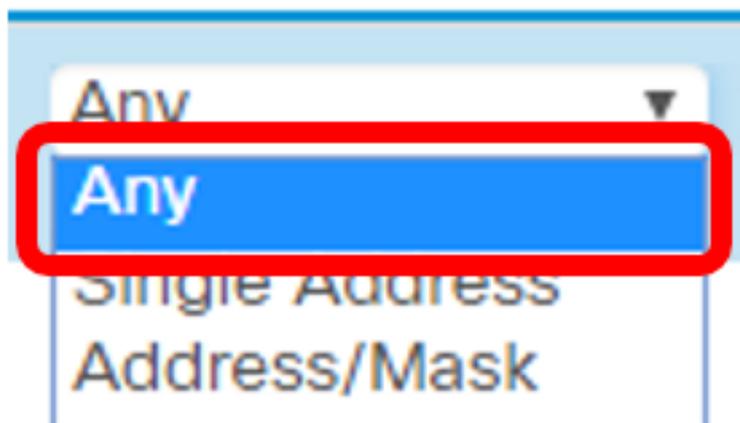
Services

Protocol:	Select From List ▼	IP ▼
Source Port:	Any ▼	
Destination Port:	Select From List ▼	ftp ▼
Service Type:	IP DSCP Match to Value ▼	63
	OK	cancel

ステップ14:**[Source Address]**を選択します。パケットの送信元アドレスは、定義されたIPv4アドレスに一致するパケットの送信元IPv4アドレスを必要とします。次のオプションがあります。

- Any：このオプションを使用すると、任意の送信元IPアドレスを一致させることができます。
- [単一アドレス]：このオプションを使用すると、送信元IPv4アドレスフィールドに送信元IPv4アドレスを指定できます。
- Address/Mask：このオプションを使用すると、送信元IPv4アドレスとしてIP範囲を指定できます。このオプションを選択した場合は、IPアドレスと対応するIPアドレスのサブネットマスクを入力します。

Source Address

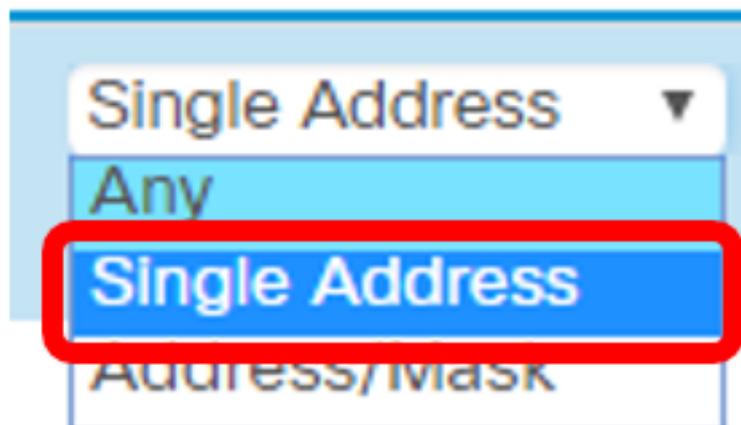


注：この例では、[Any]が選択されています。

ステップ15:[Destination Address]ドロップダウンリストから、パケットが一致と見なす必要がある宛先アドレスを選択します。次のオプションがあります。

- [任意(Any)]：このオプションは、すべての宛先IPアドレスを一致として扱います。これを選択した場合は、ステップ16に[進みます](#)。
- [Single Address]：このオプションを使用すると、[Destination Address]フィールドにIPアドレスを指定できます。
- アドレス/マスク。 - このオプションでは、[Destination Address]フィールドと[Destination Mask]フィールドにIPアドレスとサブネットマスクを指定できます。

Destination Address



注：この例では、[Single Address]が選択されています。

[ステップ16:](#)(オプション)[Destination Address]フィールドにIPアドレスを入力します。

Destination Address

Single Address ▼

192.168.100.125

ステップ17:[Save]をクリックします。

Client QoS

Save

Traffic Classes QoS Policy QoS Association

Traffic Classes Map

Traffic Class Name	Class Type	Source Address	Destination Address	Details Of Services
<input checked="" type="checkbox"/> IPv4ClassMap	IPv4 ▼	Any ▼	Single Address ▼ 192.168.100.125	More...

これで、WAP125またはWAP581アクセスポイントにクラスマップが設定されました。